

図書館だより

No. 31

●デジタル化社会の図書館

..... 文学部長・国文学科教授 服部 隆

●図書選定委員お薦めの本

..... 神学部神学科准教授 原 敬子

●教えて! ソフィアンくん

～ 第14回 図書館のここがお薦め! 先輩たちの声を聞こう! ～



デジタル化社会の図書館

文学部長・国文学科教授
服部 隆



図書館は、「リアル」と「ヴァーチャル」をつなぐ場所である。

外来語を振り回すのはお馬鹿さんのすることなので学生には推奨しないのだが、良い表現が思いつかず、こんな書き出しになってしまった。ここでいう「リアル」は現地・現物、「ヴァーチャル」はそれを言語化したものというほどの意味で使わせてもらう。脳内で生み出された言語を文字として外化し、文書や書籍としてまとめることを人間は覚えた。その長い歴史の集積が図書館である。

ところで、文書や書籍は、それ自身が再び「リアル」でもある。書籍の装丁や活字の選び方、さらにはその手触りや匂い、裏表紙に書かれた書き込みなど（あくまでも個人蔵の書籍です。図書館の本に落書きをすることはいいけません）、そこに書かれた事柄以上の存在感を私たちに感じさせる。さらに現代では、この現物としての文書・書籍をデジタル化して、「ヴァーチャル」な存在としてネットワーク上に蓄積し続けているというわけだ。

このデジタル資料が再度「リアル」な存在となるのか私には判断しかねるが、少なくとも現代の大学図書館に必要とされるのは、この「リアル」と「ヴァーチャル」をつなぐことのできる機能ということになるだろう。デジタル化が進めば進むほど、それが本来指し示す現

物としての文書・書籍を知り尽くした人間がほしい。人文系の研究に携わる学生・教員にとっての願いである。

一方、「ヴァーチャル」な情報の扱いには何が必要か。以前NHKのBSで『三省堂国語辞典』を編集した見坊豪紀先生の採集した用例カードが紹介されていたが、総数140万枚のカードは現在三省堂書店が大切に保管している。これは生身の人間が一生を掛けて手作業で集められる情報の限界と言えるだろう。

これに対して、国立国語研究所が構築し、2011年度から公開の始まった「現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)」の総語数は、約1億である。この語数は一人の人間の体感を超える。デジタル資料をどう要領よく扱うかといった技術よりも、今までの手作業感覚の延長で、この種のコーパスを利用するだけでよいのかといった本質的問題を、その便利さを享受するばかりでなく、私たちは立ち止まって考える必要がある。

「ヴァーチャル」であり「リアル」でもある書籍の両面を、バランスよく図書館は扱わなければならない。ともすれば書籍に記された情報のみをデジタル化すれば事足りるという風潮の強い昨今、それは一人一人の人間が積み上げてきた歴史に対する想像力を欠く所業だと、私は思う。

（写真は、筆者蔵の田中義廉著『小学日本文典』（明治7年刊）※1の裏表紙です。他の書き込みから女性の筆と思われますが、「玉、磨力ズンバ光ルコト無シ。瓦石ト何ゾ異ナラン。」という文言から、明治の日本人が学問に取り組む際の気概がほのみえます。）

※1 この資料は図書館にも所蔵があります。
815:Ta841:v.1-2 / 815:Ta841:v.3 7階和装本



教えて! Q&A ソフィアンくん



～ 第14回 図書館のここがおすすめ!先輩たちの声を聞こう!～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。図書館にはもう行って見たかな?
今回は僕に代わって、在校生のみんなが、図書館のおすすめポイントを紹介してくれるよ!
先輩の意見を参考に、図書館をたくさん利用して、充実した大学生活を送ってね!

※在校生の所属は2020年1月在籍時のものです。

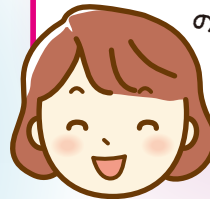
広すぎて、本を探すことが上手になりました。レポートが多い学部のため、いつも図書館で本を探し借りて勉強しています。大学生になって図書館が身近な存在になりました。テスト前に限らず空きコマや放課後よく利用しています。

総合グローバル学部 総合グローバル学科 2年
山口 和賀



上智大学の図書館にはたくさんの本があり、レポートを書く際、私はたくさん本を上智大学の図書館で借りています。私はレポート提出がたくさんある学科に所属しているので、図書館にはよくお世話になっています。

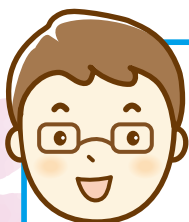
文学部 新聞学科 2年
浅沼 佑香



資料がうまく
探せないなど困ったことが
あったら1階レファレンス
カウンターへ!

上智大学の図書館は開架率が高く、誰でも・いつでも・どんな資料でも参照できます。書籍以外にも、論文誌、世界各国の新聞や価値の高い資料も収められています。困ったときの図書館!として利用できる素敵な場所です!

理工学研究科理工学専攻
情報学領域 博士前期課程 2年
佐々木 彩子



国際教養学部所属している私としては、海外の学術書が上智大学には多く所蔵されているため、課題や研究のために必要な本を探すのに重宝しています。

幅広い分野の本が揃っているため、これからも自分の知識を深めていくために利用していきたいと考えています。

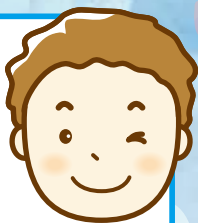
国際教養学部国際教養学科 2年
瀬下 一晟

これは
1階雑誌コーナーの様子。
前面に立てかけてあるのが
最新号。扉を開けると
バックナンバーが
入っているよ。



新入生の皆さん。実は大学の図書館って本を借りられるだけじゃないんです。例えば図書館 HP にある「新聞記事・ニュース検索」でありとあらゆる新聞記事を検索できます。レポートや就職活動で是非有効に使ってみてください！

理工学研究科 理工学専攻 博士前期課程 1 年
赤井 秀行



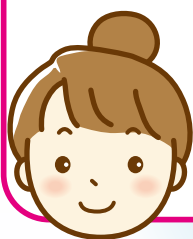
図書館には
いろんな種類のデータベース
(特定の情報を集めて検索できる
ようにしたもの) があるんだ。
新聞のデータベースを使えば、
昔の記事だって簡単に探せるよ。
アクセスはこちら
[http://lux.lib.sophia.ac.jp/
HomePage/?page_id=81](http://lux.lib.sophia.ac.jp/HomePage/?page_id=81)



私は、レポート課題に取り組む時などに図書館を利用します。図書館は、周りの上智生も学習に取り組んでいるので自分も集中することができます。

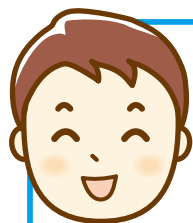
日本語の文献だけでなく、英語の参考文献も揃っており言語学の勉強にも最適です！

外国語学部英語学科 3 年
神野 帆夏



上智大学に無い学科に関連する本もたくさん置いてあるので、自分の興味に合わせて知識を深めていくことができます。閲覧席は読書も勉強も捗る最高の場所です！

法学部地球環境法学科 3 年
佐藤 慶実



図書館の蔵書は約 107 万冊
(2019.3 現在)。
そのうち半数の約 50 万冊
が洋書なんだ。



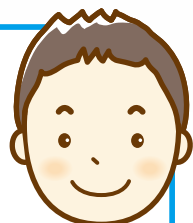
私はレポートに使う本を借りるためによく図書館を利用します。目当ての本を探している間についタイトルに惹かれて手に取った本の中には新たな発見ができたという経験もあり、自分にとって興味を広げられる場所になっています。

総合人間科学部社会学科 2 年
小出 彩由子



大学生になると、レポートや課題などで様々な情報が必要になることが多いです。そんなときに、幅広い分野の沢山の本が揃っている図書館は非常に便利です。自分で購入するとなかなかお金がかかりますよね？学生証が 1 つあるだけで全部無料で読めるんです！！検索用のコンピュータを使えば、探したいの本の分野やキーワードで簡単に探すことができます！

総合人間科学部社会学科 1 年
信岡 幸生



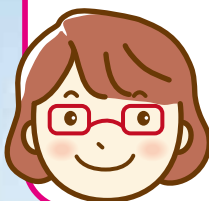
検索用の
コンピュータのことを
OPAC というんだ。
1 階北の壁側や
書庫の中にあるよ！



仕切られた席は
勉強が
はかどりそう!



あたしは課題の参考資料を探すためによく上智の図書館を使っています。とても広くて、勉強スペースもたくさんあるので土日に図書館に勉強をしに行くこともあります。



本の種類もたくさんあり、自分の気になるテーマの本を見つけることができるので、これからも利用していきたいです!!

総合人間科学部教育学科 1 年
加藤 愛梨紗

私はデスクでの勉強をお勧めします。上智大学の図書館にあるデスクは階によって個別に仕切られていたり、書庫の近くですごく静かだったりと色々な所があります。



自分のお気に入りの場所を見つけることで勉強も捗ります!

法学部法律学科 3 年
S.S

私は、図書館をテスト期間の際の勉強の場として利用していました。お気に入りの席があり、同じ学科の友達とは図書館で待ち合わせという中どの場所にいるか伝えなくても会えるほどの私たちの特等席でした。現在は院生になり図書館に行く機会は少なくなりましたが、その席の前を通るときはとても懐かしい記憶がよみがえります。



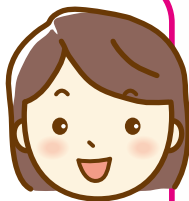
理工学研究科理工学専攻
機械工学領域博士前期課程 1 年
山本 華菜子



「閲覧済み本棚」のことを、
ブックトラックというんだ。
各フロアの本棚の脇や出入口付近にあるよ。借りた本は1階の
閲覧カウンターに返してね。



上智大学図書館の自習スペースには完全に個別化された机があり、とても集中できるのでよく利用しています。また、9 階には上智史資料室があり、上智大学の今までの歴史や現在では使われていない校章なども見るすることができます。



法学部国際関係法学科 1 年
A.A

図書館 9 階にある
上智史資料室の開室時間は、
原則平日 9 時～11 時半、12 時半～17 時。
入るとすぐに展示コーナーがあるよ。
書庫は開架式で事前の申請が必要。
申請から閲覧まで
1 週間程度かかるんだ。



図書館では、閲覧した図書を元の場所に返すのではなく、「閲覧済み本棚」に戻します。(図書の貸し出し・返却ではなくあくまで閲覧の話ですよ!) 多分これは学生が図書を間違った場所に返してしまうことを防ぐ目的だと思うのですが、それにしても”後片付けしなくていい”というのは日常生活にはなかなかないものです。ぜひみなさんも図書館の方に感謝しながら、教養を深めんばかりに図書を読み散らかしていきましょう。



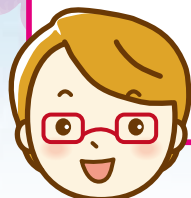
法学部国際関係法学科 2 年
M.S



AV コーナーは、
一人用の席だけでなく、
こんなソファ席もあるよ!

私は、図書館を試験勉強やレポート、課題を進める時に
使用しています。主に空きコマに使用しているのですが、
静かな環境の中で集中して勉強できます。
パソコンもあるのでとても便利です。

総合人間科学部 心理学科 1 年
池ヶ谷 レイ



上智大学の図書館は静かであり、文献が充実している
為、レポート作成の際にとっても役立ちます。またビデオも
あるので空きコマなどに利用しています。

総合グローバル学部
総合グローバル学科 2 年
野原 真子

自習スペースがたくさんあり、テスト勉強やレ
ポート課題をする際に活用しています。また、
図書館内には友達同士で相談しながら課
題を進められるスペースもあり、プレゼンの準
備なども、落ち着いた空間で和気あいあいと話しかうこと
ができるのが良いです。

総合人間科学部教育学科 2 年
青木 明衣



2 階には
2 つの
PC ルーム!



私はグループ発表の練習などでよく図書
館のラーニングコモンズを利用します。オ
フィスの会議室のようなおしゃれな空間が
気に入ります。他にもブースに区切られた
自習スペースなど様々な場所があるので学習がはかど
ります。

理工学部機能創造理工学科 2 年
藤井 清蘭



グループ
学習室



学生
ラウンジ



ラーニング
コモンズ



目白聖母キャンパスは
医療・看護系の資料が
充実しているよ。
利用するときは
学生証を忘れずにね!



私は目白聖母キャンパスの図書館を多用しています。看護
の本が充実しており、病態を調べる際に利用し、ぴった
りな本を見つけることができます。図書館
がなければ看護を学べません! 海外の
映画を見られるのも嬉しいです。

総合人間科学部看護学科 2 年
佐藤 菜那



図書選定委員お薦めの本

神学部神学科准教授 原 敬子

『長崎の鐘』

(永井隆著・平和文庫、日本ブックエース2010)

学部地下2階：916:N147:2010



2019年11月24日から26日まで、フランシスコ教皇が日本を訪れました。記憶に残っている方も多いかと思います。日本のカトリック信者数は人口全体の0.4パーセントに満たないのですが、あの三日間、多くのメディアでトップニュース、国内外から数百に亘る報道機関の取材申し込みがあったそうです。異例の数と言われています。

フランシスコ教皇は上智大学も訪れ、私たちにメッセージを残しています。今でもYouTubeで視聴できます。その中で彼はこう語りかけました。「上智大学のキリスト教とヒューマニズムの伝統は、すでに述べたもう一つの優先事項と完全に一致します。すなわち、現代世界において貧しい人や隅に追いやられた人とともに歩むことです」。彼は、メッセージの中で、上智大学の存在意義を過去から現代に至る時間軸でつなげ、私たちの視線をこの世の忘れられた人々に向けてよう導いてくれました。

キリスト教とヒューマニズムの伝統——。二千年間歩み続けてきたこの伝統には、歴史的にも地理的にもあらゆる面で広くて深い知識の蓄積があります。おそらく上智大学で生活する人々はその一端に触れることになるでしょう。キリスト教人間学で学ぶ時間もありますし、色々な書物にも出会うでしょう。神学部もあります、キャンパス・ミニストリーを担うセンターもあります。ただそれだけでなく、聖イグナチオ教会が隣接するキャンパスに流れる特別な風、正午と六時に鳴り響く鐘の音、また、「信」についても自由に語りあえる話し相手に出会うのではないのでしょうか。

前置きが大変長くなりましたが、キリスト教入門にふさわしい書を紹介するにあたり、悩みに悩んで、やはりこの本！と決めました。永井隆『長崎の鐘』です。

1945年8月9日、合衆国が長崎に原爆を投下、爆心地すぐそばの浦上天主堂が破壊され、教会周辺に居住していた人々の多くが亡くなりました。永井隆先生は放射線医師として従事していた長崎医大病院で被爆します。カトリック信者でした。九死に一生を得た彼はすぐさま被爆者の治療にあたり、晩年、如己堂（「己を愛する如く汝を愛する」の意）と名づけた小屋の中で執筆活動を行います。その一つの書が『長崎の鐘』です。これは永井先生が詳細に記録した原爆投下後の浦上地区の惨状、体験記録を元に綴られた書です。私はこの本を被爆体験という観点でなく、キリスト者の、特に長崎に生きた日本人カトリック信者の証言本としてご紹介したいと思います。

私は広島出身の被爆二世です。多くの被爆体験本を読んできたつもりです。しかし『長崎の鐘』にはどの被爆体験とも違う、天に突き抜けた明るさがあります。「勃然として新鮮なる興味が荒涼たる原子野に湧き上がる」。永井先生の内発動機です。惨禍の中、生死の境にあって、人間はこれほどまでに内なる精神を拡張することができる……。私は大人になって初めて読んで、愕然としました。目には見えぬ、手でも触れられぬ神を信じる人間の最大限の希望を表明した、いわば、宣言だと感じました。『長崎の鐘』は、日本のキリスト者によって書かれたメイド・イン・ジャパンの福音です。

聖書は、およそ二千年前、ローマ帝国の統治下にあったイスラエル地方で、その時代に生きた人々の、つまり、生きた人々の証言を集めた書です。人間がどのようにして、人間として生きることが可能なのか、それを徹底的に探求し、実際に彼らが生きた経験を書き記した本といえます。フィクションではなく、書き記された言葉の背後に、ほんものの人間経験があります。二千年のキリスト教の連続性は各時代に誠に生きた人々の証言の連続性です。『長崎の鐘』は、二十世紀、原爆投下で燃え盛る火柱の真ただ中で、人間はどこまでも人間の尊厳を失うことなく、生気躍動する自己を保ち、隣人を愛して生きることができると語った、私たちの時代の、現代のキリスト者の語りです。

最後に、フランシスコ教皇が上智大学での講演の直後、亡くなった弟を背負った長崎の被爆の少年の写真と向き合っている写真をご紹介します。彼は、紙媒体の写真を眺めているのではありません。写真の中の少年と真の対話に入っているのです。『長崎の鐘』の頁を開けば、あの日の人々と今日、真実の対話ができると思います。



上智大学所蔵

叡智が世界をつなぐ

上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学図書館だより No. 31

発行所 上智大学図書館

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL: 03-3238-3510 FAX: 03-3238-3139

発行日 2020年4月1日

印刷 三鈴印刷株式会社 TEL: 03-5276-0811